

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>快適で安全な観光地づくりに取り組み、本市の観光資源の魅力を向上させることは、多くの観光客を誘客し、本市の経済波及効果に大きく寄与することから、観光施設の整備を充実させていく必要がある。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>観光案内板の新設や、古くなった案内板の修繕を充実させ、おもてなしの向上を図る。また、友ヶ島島内においては、築35年が経過し、潮風の影響から老朽化が激しい野奈浦栈橋の架替工事や、倒木や落石の除去、安全な遊歩道の確保、急増するケガ人や急病人に対応するためのドクターヘリの着陸場の整備など、観光客の安全に努めていく。</p>